第23回　契約・調達管理会議
議事要旨

１　開催日時

令和７年１月22日（水曜日）11時00分から12時00分まで

２　開催方法

オンライン

３　出席者

（１）委員（敬称略、五十音順、〇委員長）

○鵜川　正樹	監査法人ナカチ／公認会計士
小玉　伸一	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団デフリンピック準備運営本部総務部調整担当シニアマネージャー
金谷　晃臣	東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第二課長
清水　俊二郎	東京都生活文化スポーツ局事業調整担当部長
滝口　広子	北浜法律事務所・外国法共同事業／弁護士
灘野　邦敏	一般財団法人全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会
藤川　太郎	一般財団法人全日本ろうあ連盟

（２）事務局

東京都生活文化スポーツ局

４　要旨

（１）開会

（２）議事（発言者の敬称略）

ア　第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025 開閉会式計画実施運営委託【資料１】

<説明・確認>

・案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。

（ア）本大会は世界各国・地域のデフアスリートが一堂に会するスポーツの総合大会であり、開閉会式の運営に万全を期す必要があるため、開閉会式の計画・運営に関する業務を委託する。

（イ）式典企画、式典会場設計、式典準備及び運営、式典広報、式典警備の業務を委託するものであるが、会場のどこからでも視認性を確保し、誰一人取り残されることがなく、情報を得られる情報保障の充実も重要と考えている。

（ウ）落札候補者の決定にあたっては、確実な履行や品質の確保が必要であることから総合評価方式を採用する。具体的には、入札者からの提案内容を点数で評価した技術点と入札価格を点数で評価した価格点をそれぞれ算出し、その合計が最も高い入札者を落札者として決定する。

<質疑・意見など>

藤　川：情報保障に関して、本契約において、手話通訳者の手配や派遣はどのような仕様になっているか。

担当者：全日本ろうあ連盟が国際手話及び日本手話言語通訳者の人材育成を担っており、大会時の国際手話、日本手話言語通訳者の手配は事業団の所管部署にて検討中であることから、本契約には含んでいない。

滝　口：予定価格はどのように積算されたか。

担当者：大規模スポーツイベントや文化イベントを開催した実績のある複数の事業者から参考見積を徴取し、各見積を精査のうえ積算をした。

鵜　川：総合評価方式における技術審査委員会の委員の方はどのような方を選任されているか。

担当者：東京都、全日本ろうあ連盟、デフリンピック準備運営本部、開閉会式検討部会の有識者の方、ろう者の文化等に造詣の深い方、デフアスリートの方を選任している。

イ　第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025 表彰関連消耗品製作及び表彰式運営業務委託【資料２】

<説明・確認>

・案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。

（ア）東京らしい創意工夫を凝らした表彰式を実施することを目的とし、東京らしさを取り入れた表彰式運用計画等の作成、人員・備品・消耗品等の調達及び表彰式の運営に関する業務を委託する。

（イ）主な業務内容は、実施計画の策定、表彰関連消耗品の調達、表彰式運営マニュアル作成、表彰人員の手配及び表彰式実施、表彰運営備品及び消耗品の調達、表彰関連消耗品運搬業務、表彰音楽の選定及びデジタル国旗データ制作である。

（ウ）落札候補者の決定にあたっては、確実な履行や品質の確保が必要であることから総合評価方式を採用する。具体的には、入札者からの提案内容を点数で評価した技術点と入札価格を点数で評価した価格点をそれぞれ算出し、その合計が最も高い入札者を落札者として決定する。

<質疑・意見など>

藤　川：過去のデフリンピックでは、国旗や国歌データは各国自身で持参するようになっていたと記憶しているが、本契約では表彰音楽の選定やデジタル国旗データ制作が仕様に含まれている。過去大会のように各国自身が持参するデータと本契約における業務との関係を教えていただきたい。

担当者：国旗と国歌に関しては、現在、選手団専用ホームページ上において、各国選手団にデータの提出を依頼しており、データを受領次第、本契約の受託者に引き継ぐ予定である。また、入退場の音楽に関しては、本契約の受託者から３案提案を受け、宗教色や政治色のないこと、かつ歌詞のない音楽を２つ選定していくことを本業務に盛り込んでいる。

藤　川：表彰式における情報保障に関して、国際手話、日本手話言語通訳者の手配は本契約に含まれているか。

担当者：表彰式では国際手話及び日本手話言語通訳者を配置する予定だが、全日本ろうあ連盟が国際手話及び日本手話言語通訳者の人材育成を担っており、大会時の国際手話、日本手話言語通訳者の手配は事業団の所管部署にて検討中であることから、本契約には含んでいない。

藤　川：表彰式の運営の規模感は何を参考に計画されるのか。

担当者：国内の類似大会や過去のデフリンピック等を参考にしている。

灘　野：副賞はどのような内容を考えているか。

担当者：エシカル消費活動に寄与するものという点を仕様で定めている。本大会では、デフスポーツやろう者の文化への理解促進、環境への配慮などに取り組むことで、未来につながる大会を実現することを目指しており、これらの施策として、人や社会、環境に配慮した消費活動であるエシカル消費に寄与する副賞の調達をしていきたいと考えている。

滝　口：予定価格の算出について、どのような業者に見積を依頼され、積算をされたか。

担当者：デフリンピックのプロトコールに則った表彰式を運営するという仕様のもと、スポーツイベントや催事の開催実績がある複数の事業者から参考見積を徴取し、積算した。

鵜　川：総合評価方式における技術審査委員会の委員の方は、本契約では特にどのような方を選任されているか。

担当者：本契約では、メダル、副賞トレーの製作等でこちら表彰関連の物品製作があるため、工業デザインの専門家の先生を選任しており、この点は、他の契約とは別の視点から委員の選任をしているものと考えている。

ウ　第 25 回夏季デフリンピック競技大会 デフリンピックスクエア運営業務委託【資料３】

<説明・確認>

・案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。

（ア）東京2025デフリンピック開催期間中、大会運営本部と文化発信機能を集約した拠点として、デフリンピックスクエアを国立オリンピック記念青少年総合センターに設置する。大会本部機能とは、大会の本部や輸送ハブ、メディアセンターなど大会の運営に関わる様々な機能である。また、文化発信機能とは、デフスポーツやろう者文化への理解を深める取り組みを始め、ユニバーサルコミュニケーション技術や東京の魅力に触れる機会など多様な人々が楽しめる多彩なプログラムを集約した機能である。

（イ）本契約は、デフリンピックスクエアの企画、運営等の業務を委託するものである。契約期間は令和7年4月1日から令和8年1月30日まで。主な委託内容は、業務や運営に関する計画書の作成、主に文化発信機能に係る各プログラムの企画提案、デフリンピックスクエアの運営等業務、物品・人員等の発注手配に関することである。

（ウ）落札候補者の決定にあたっては、確実な履行や品質の確保が必要であることから総合評価方式を採用する。具体的には、入札者からの提案内容を点数で評価した技術点と入札価格を点数で評価した価格点をそれぞれ算出し、その合計が最も高い入札者を落札者として決定する。

<質疑・意見など>

藤　川：主な委託内容のうち、金額面で全体に占める割合の大きな項目を教えていただきたい。

担当者：デフリンピック運営等業務が一番大きく、同程度で、物品・人員等の発注手配が占める。

灘　野：大会運営本部の開設期間はいつからいつまでか。

担当者：基本的には大会期間と同じ令和7年11月15日から同月26日までを想定しているが、大会業務に応じて、前後3日から5日程度、運営期間を延ばして実施することも予定している。例えば、選手の入国は開会式の前から始まるため、それに合わせてバスの輸送やIDカードの発行や宿泊者への対応などの業務が発生すると考えている。また、閉会式が終わった後、出国までの期間も同様に、バスの輸送や宿泊対応の業務などを行う予定である。

滝　口：予定価格について、どのような業者に参考見積を依頼し、積算されたか。

担当者：過去に国際大会やイベント等を開催した実績のある複数者から参考見積を徴取している。各社から得た参考見積を、計画の作成や企画提案、デフリンピックスクエアの運営等業務等、項目ごとに比較しつつ、仕様で想定している以上の内容が含まれている場合には除くなどしたうえで、見積額を平均化し予定価格を算出した。

鵜　川：総合評価方式における技術審査委員会の委員の方はどのような方を選任されているか。

担当者：例えば、スポーツ分野やスポーツ大会の運営について専門的な知識を有する方やろう者の視点で審査いただける方、都の施策について知見をお持ちの方、そのような方々を選任している。

エ　第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025 ボランティア等管理運営業務委託（単価契約）【資料４】

<説明・確認>

・案件の概要について事業担当者から主に以下を説明。

（ア）競技会場やデフリンピックスクエアで活動するボランティアの配置等の管理運営業務を委託する。大会終了後の報告書作成やボランティアへの感謝状発行等の業務を終えて年度内に清算等を行うスケジュールを考慮して、契約期間は令和７年４月１日から令和８年２月 27 日までとしている。

（イ）本契約の主な業務は、ボランティア等の情報を管理し、連絡、シフト調整、研修等が実施できるシステムを構築するなどの全体統括業務、デフリンピック準備運営本部が提供する素材を加工し各種研修資料や動画の作成、研修の受講管理を行うなどの研修業務、ボランティアのシフト調整や保険への加入手続などの運営・管理業務、活動用物品の手配業務、大会当日の運営業務である。

<質疑・意見など>

藤　川：主な委託内容のうち、金額面で全体に占める割合の大きな項目を教えていただきたい。

担当者：基本的には全体統括業務、大会当日の運営業務に係る人件費の部分が大きな割合を占める。

灘　野：単価契約とする理由を教えていただきたい。

担当者：単価で設定できるものを本契約とは別に発注することも検討したが、物品の手配も、ボランティアの管理運営業務として一括で発注した方が効率的に業務を行えることから一つの契約とした。ただし、単価で設定できるものについては、総価で支払うのではなく、実際に調達した分のみを支払う方が合理的と考え単価契約とした。

オ　委員長によるまとめ

・契約予定案件については、各委員の意見もふまえ契約手続きを進めていただきたい。

（３）閉会